



お家でできる！ごっこ遊び



ごっこ遊びとは？

ごっこ遊びとは、身近なものを別の何かに見立てたり、誰かや何かになりきったりして遊ぶ遊びのことです。おままごと、お人形のお世話、積み木を電話に見立てて「もしもし」とお話…。これらはすべてごっこ遊びです。

ごっこ遊びを通して、目の前にないものやなりたい役をイメージする力、思いや考えを言葉や動作で表現する力、大人や友達とのやり取りの中で相手の気持ちを想像する力などが育まれていきます。

ごっこ遊びを楽しむポイント

お子さんの始めたごっこ遊びの世界にパパ・ママも入ってみましょう。大人も一緒に遊んで楽しむことが大切です。楽しい気持ちを共有することが、さらなる遊びへの意欲や、豊かな想像力につながっていきます。

ごっこ遊びをお家でもやってみたいけれど、どんな遊びがいいのかな？というとき、題材のヒントになるのは『身近なもの』。生活の中でお子さんが見たことがあるもの、経験したことがあることを遊びに取り入れると、お子さんもイメージしやすく、想像を膨らませながら楽しむことができます。

今回は保育園でも人気のごっこ遊びや、簡単につくることができる遊びのアイテムをご紹介します🌟ぜひ、親子でいろいろなごっこ遊びを楽しんでみてくださいね♪

運転手さんごっこ



ハンドルをつくってみよう

広告紙や新聞紙をリング状に丸めて、テープでとめてつくります。上からガムテープを巻くと、丈夫になり壊れにくいです。

ハンドルを持って運転手さんに変身！「どこにお出かけしようかな？」「お買い物？」「公園？」などと、パパ・ママもお子さんと一緒に想像を膨らませ、声をかけながら遊んでみましょう。

運転席は椅子や踏み台など、安全に座ることができれば何でもOK。段ボールがあれば簡単に車をつくることもできます。

椅子を並べたり段ボールの車をくっつけたりすれば、バスごっこもできます。家族でバスに乗ってお出かけ…なんて設定も楽しいですね。

段ボールの車の作り方

四角く組み立てた段ボールの上部を内側に折たたむだけ。ふちで手を切らないよう、必要に応じてガムテープで覆うなどしましょう。マスキングテープや、お子さんが描いた絵を周りに貼ってもかわいい♡





お出かけごっこ

お家の中でもお出かけごっこをしてみましょう。リュックやバッグを準備して、帽子をかぶるとお出かけ気分も盛り上がります。お部屋の壁に食べ物の絵を貼ってスーパーに見立てたり、動物の絵を貼って動物園にしたり…子どもが目で見えてわかりやすい『仕込み』をしておくと、イメージをもって遊ぶことができます。お人形と一緒に出かけたり、運転手さんごっこと組み合わせて車に乗って出かけたりすると、遊びのバリエーションが広がりますよ。

お出かけごっこの後は、お家の中にレジャーシートを敷き、お弁当を広げてピクニックごっこ。お弁当箱の中身は、おままごとの食材でもいいですし、親子で本物のお弁当を食べても楽しいですよ。



スーパーで何を買おうかな？
イラストは手書きでもシール
でも、印刷でも OK！



ステージごっこ



マイクをつくってみよう

ガチャガチャの玉と、短く切ったラップの芯をテープでとめるだけで、簡単につくれます。シールなどでデコレーションしてもかわいいですよ。

ガチャガチャの中にビーズを入れると、マラカスにもなります。(ビーズが飛び出て誤飲することがないように、開け口や穴をテープでしっかりとふさぎましょう。)



マイクを手に持ったら、気分はアイドル♪

踏み台やベッドをステージがわりにして、お子さんの好きな音楽をかけて歌ったり踊ったりして遊んでみましょう。パパ・ママも一緒に歌ったり踊ったりすることで、お子さんの楽しい気持ちも膨らんでいきます。楽器のおもちゃがあれば、演奏会ごっこもできますよ。

ほかにもいろいろなごっこ遊びができます

- ・おうちごっこ～大きな段ボールをおうちに見立てて、中に入って遊んでみよう。
- ・お風呂ごっこ～シャンプーやボディソープの空容器とタオルを使って、頭や体を洗う真似っこ。
- ・お店屋さんごっこ～お菓子の空箱を並べてお店屋さん。買った商品を入れる袋も忘れずに。
- ・お掃除ごっこ～布やタオルで窓や床を拭いて遊ぼう。乾いた布なら、汚す心配もなし！



具体的な遊び方や、遊びのアイデアなどもご紹介できます。りんごのへやの保育士に気軽にご相談ください。

